

利益相反に関する自己申告書

一般社団法人日本ペインクリニック学会 代表理事 殿

申告日（西暦） 年 月 日

対象者（該当箇所に☑）：学会誌投稿者（非会員も含む） 本会が主催する学術集会・公開講座発表
本学会の役員（代表理事 事務局長 理事 特任理事 監事 会長）
各種委員会委員長及びワーキンググループ長 倫理委員 利益相反委員 学会誌編集委員
用語委員 治療指針検討委員 ガイドライン作成ワーキンググループメンバー

申告者名（自署）： _____ ⑩ 所属（施設/部署）： _____

論文名または演題名 _____

本学会での役職及び属している委員会名※1：役職 _____ 委員会名： _____

※1. 本会での役職がない場合や委員会に属さない場合は記入不要

※当該研究に関係するものについて漏れなく記載すること

※6、7、については、すべての申告者は所属する部局（講座、分野）あるいは研究室などへ関係する企業や団体などから研究経費、奨学寄附などの提供があった場合に申告する必要がある

1. 医学系研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体の役員、顧問職1つの企業・組織からの報酬額
※1つの企業・団体から過去1年間に支払われた報酬額が100万円以上のものを記載

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	役割（役員・顧問等）	報酬額
①			
②			
③			
④			
⑤			

2. 株の保有と、その株式から得られる利益

※1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業名	持ち株数	5%以上 保有	申告時の株価 (1株あたり)	最近1年間の 本株式による利益
①					
②					
③					
④					
⑤					

3. 企業や・組織や団体からの特許権使用料として支払われた報酬

※1つの特許権使用料が年間100万円以上あれば記載すること

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	特許名	特許権使用料・譲渡料
①			
②			
③			
④			
⑤			

4. 企業や・組織や団体から会議の出席（発表、助言）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）

※1つの企業・団体からの年間合計100万円以上のものを記載

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	講演料等の金額
①		
②		
③		
④		
⑤		

5. 企業・組織や団体がパンフレット、座談会記事などの執筆に対して支払った原稿料

※1つの企業・団体から年間合計100万円以上のものを記載

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	原稿料の金額
①		
②		
③		
④		
⑤		

6. 企業・組織や団体が提供する研究費

※1つの企業・団体から医学系研究（治験、受託研究費、共同研究費など）に対して支払われた総額が年間100万円以上のものを記載

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	研究名	金額
①			
②			
③			
④			
⑤			

7. 企業・組織や団体が提供する奨学（奨励）寄付金

※1つの企業・組織や団体から、申告書個人または申告者が所属する部局（講座・分野）あるいは研究室の代表に支払われた総額が年間100万以上のものを記載

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	研究名	金額
①			
②			
③			
④			
⑤			

8. 企業・組織や団体が提供する寄附講座に申告者らが所属している

有（有の場合は以下に記載） 無

	企業・組織・団体名		企業・組織・団体名
①		②	
③		④	
⑤		⑥	

注) : ① 申告日より起算して、1年間の活動・報酬について記載すること。

② 申告後、新たに利益相反が発生した場合にはその時点から6週間以内に修正した申告書を提出すること。

事務局使用欄（記載不要） 受付日： 年 月 日